

地震防災対策マニュアル

南海トラフ地震臨時情報発表時における高圧ガス輸送車の対応措置

(常時携帯用)

南海トラフ地震臨時情報を覚知したら、高圧ガス輸送車の輸送従事者は、
 ①まず冷静に落ち着くこと。
 ②今どこで何をしているかを確認すること。
 ③情報はラジオやその場所の責任者から聞いて知り、デマにまどわされないこと。
 ④今どこで何をしているかによって次の措置をしてください。

		出荷施設にいるとき	輸送途中のとき	荷受施設にいるとき	空車のとき
南海トラフ地震防災対策推進地域	南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域	施設責任者の指示に従い、基本的に次の措置を行う。 1. 指示により作業を中止し、構内の安全な場所に車を移動した場合は、下記「駐停車の措置」により措置する。	1. 現場警察官・消防官の指示に従う。 2. カーラジオ等により継続して地震情報及び交通情報を聴取し、その情報に応じて行動する。 3. 輸送を中止し、出荷施設か車庫へ戻る。 4. 走行を継続する場合は、次のように低速走行すること。 高速道路40km 首都高速・一般道路20km 5. 緊急地震速報発表時は下記心得で運転すること。 6. 津波情報が発表されたときは特別強化地域から避難すること。 7. 車両を置いて避難する時は、下記「駐停車の措置」により措置する。	施設責任者の指示に従い、基本的に次の措置を行う。 1. 指示により作業を中止し、構内の安全な場所に車を移動した場合は、下記「駐停車の措置」により措置する。	1. 車の前後の見やすい位置に備え付けの「空」の表示を掲示する。 2. 現場警察官・消防官の指示に従う。 3. 車庫へ戻る。

緊急地震速報の利用の心得	① 急ブレーキをかけず、緩やかに速度を落とす。
	② ハザードランプを点灯し、周りの車に注意を促す。
	③ 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止する。

駐停車の措置	① エンジンを止めパーキングブレーキ・車止め等で車両が暴走しないようにする。
	② 各バルブの閉止状態を点検確認する。
	③ 消火器は直ちに使用できる状態にしておく。
	④ エンジンキーはつけておき、ドアロックはしない。

		出荷施設にいるとき	輸送途中のとき	荷受施設にいるとき	空車のとき
推進地域の隣接地域		施設責任者の指示に従い、基本的に次の措置を行う。 1. 指示により作業を中止し、構内の安全な場所に車を移動した場合は、上記「駐停車の措置」により措置する。	1. 現場警察官・消防官の指示に従う。 2. カーラジオ等により継続して地震情報及び交通情報を聴取し、その情報に応じて行動する。 3. 届先が推進地域である場合は、輸送を中止し、出荷施設か車庫へ戻る。 4. 届け先が上記以外の時は、地震津波情報に応じて輸送を続ける。 5. 緊急地震速報発表時は上記心得で運転すること。 6. 道路の交通事情、安全態勢の状況により、やむを得ず一時駐車する時は、できる限り民家等から離れた広い場所に移動し、上記「駐停車の措置」により措置する。	施設責任者の指示に従い、基本的に次の措置を行う。 1. 荷卸中又は待機中にあつては、消火体制、緊急遮断体制を強化する。	1. 車の前後の見やすい位置に備え付けの「空」の表示を掲示する。 2. 現場警察官・消防官の指示に従う。 3. 車庫へ戻る。

上記以外の地域	カーラジオ等により継続して、地震津波情報及び交通情報を聴取し、その情報に応じて行動する。
---------	--

※ 一般ガスのバラ積車にあつては、特に転倒・転落防止措置について点検確認を行う